



報道関係各位

2010年5月15日

～三次真一郎常陸大宮市長をはじめ、全国から100人の赤ちゃんが参加～

第24回 ピジョン赤ちゃん誕生記念 植樹式

5月15日 ピジョン美和の森(茨城県常陸大宮市)にて

ピジョン株式会社(本社:東京、社長:大越 昭夫)は、5月15日(土)ピジョン美和の森(茨城県常陸大宮市)において、ピジョン赤ちゃん誕生記念 植樹式を開催いたしました。

第24回目となる今年は、開催地であるピジョン美和の森に、ナラ(2000本)・クヌギ(2000本)・エノキ(1000本)の広葉樹の苗木を植樹します。参加者は、2009年1月1日～2010年2月28日までに誕生した全国の100人の赤ちゃんとその家族です。本日の式典の来賓には、植樹式代表者(※)をはじめ、三次真一郎 常陸大宮市長他が臨席して頂き、また主催者として、ピジョン(株)代表取締役社長の大越昭夫らが出席しました。



▲参加者代表:茅根 美里(チノネ ミサト)ちゃんご家族

【代表者コメント：茅根 美里（チノネ ミサト）ちゃんご両親】

（茨城県常陸大宮市在住 2009年5月2日生まれ 女の子）

「赤ちゃんを育てることと、木を育てることは同じ」というキャンペーンのスローガンに賛同し、今回ぜひ参加したいと思い、応募しました。わが子には、周囲の人たちの愛情をたっぷりうけ、この常陸大宮市の大自然の中、のびのびと素直な子に育ててほしいと思っています。」

【三次真一郎 常陸大宮市長コメント】

「50年後、100年後も、今日植えた木が、子どもの成長と同じように、すくすくと成長することを願っています。常陸大宮市は6割以上が森で占めており、自然豊かな町です。今後も、ピジョンさんと一緒に森作りを続けていきたいと思っています。」

また、会場では、参加した子供たちが常陸大宮市の名産や伝統的な遊びを楽しめる催し（「地元の竹を使った竹製のけん玉遊び」、「しいたけ種駒打ち体験」、「竹トンボや水鉄砲体験」、「西ノ内和紙作成体験」など）や日本野鳥の会の協力により「バードウォッチング体験」「野鳥の紙芝居」で一日を楽しみました。

“育児と育樹、心は同じ”のスローガンのもと、赤ちゃんの誕生を記念して、1987年から20年以上にわたり、「ピジョン美和の森」で植樹活動を行っており、今年で全国から約10万人の赤ちゃんが参加しています。今後も、キャンペーンに参加して頂いた家族の思い出の場、また地元の方との交流の場として、この森を守り続けていきます。

「第24回ピジョン赤ちゃん誕生記念 植樹式」 開催概要

日時・・・2010年5月15日（土）

場所・・・「ピジョン美和の森」 茨城県常陸大宮市鷲子（とりのこ）

主催・・・ピジョン株式会社

後援・・・常陸大宮市

実施内容・・・

9:30～ 第24回植樹式典 開会挨拶

主催者挨拶／ピジョン株式会社 代表取締役社長 大越 昭夫

来賓者挨拶／常陸大宮市長 三次 真一郎氏

植樹式代表者 /

茅根 美里（チノネ ミサト）ちゃん

（茨城県常陸大宮市在住 2009年5月2日生まれ 女の子）

松田 詩彩（マツダ シオリ）ちゃん

（東京都墨田区在住 2009年9月4日生まれ 女の子）

- 10 : 00～ 記念植樹（式典参加者）
- 11 : 30～ 一般参加者 植樹
- 13 : 00 「森から贈る最初の手紙」集配
郵便事業株式会社 那珂支店 美和集配センター
- 16 : 00 終了

※ 本日の植樹式に参加されない全国の約 4900 名の赤ちゃんの植樹は 7 月頃までに、
ピジョンと美和木材協同組合が行う予定です。

「ピジョン赤ちゃん誕生記念育樹キャンペーン」 概要

- タイトル : 第 24 回ピジョン赤ちゃん誕生記念育樹キャンペーン
- スタート年 : 1987 年～
- 目的 : 出産・育児の感動や喜びを多くの方と共有するとともに、
子どもたちの未来へ残す森づくりと、次世代を担う赤ちゃんの
ために自然が永続的に守られていくための環境づくりのため。
- スローガン : “育児と育樹、心は同じ”
- 植樹場所 : 茨城県常陸大宮市「ピジョン美和の森」
- 植樹内容 : ナラ 2000 本・クヌギ 2000 本・エノキ 1000 本の苗木
- これまで参加した人数 : 約 9 万 5 千人の赤ちゃん
- 植樹地総面積 : 90ha (90 万㎡)